

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	広島県廿日市市	2 補助事業の種類	世界文化遺産活性化
3 実施計画の名称	世界遺産「厳島神社」を活用した地域活性化プロジェクト		
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>廿日市市は、「廿日市市観光振興基本計画（平成26年度策定）」において、基本方針1「宮島は観光の質向上を目指し、その風土や文化を理解する観光の担い手の定住と人材育成を進め、その取組を通じて宮島のブランド力を高めることにより”一流の国際観光拠点”を目指す」としており、観光施策が「移住・定住」や「地域経済の活性化」など地方創生の一翼を担うものと位置付けている。</p> <p>本計画の施策においては、「宮島の文化・風習を継承する人を確保する」や「自然と歴史文化が調和した景観を保全する」などにより、宮島のブランド力の持続・向上を図ることとしている。</p> <p>そのような市の体制を背景に、世界遺産登録20周年を平成28年に終え、新たな時代に向かって厳島神社の文化的・歴史的価値とその意義を、市民と文化教育関係者や観光関係者で共有し、世界遺産登録の文化財を地域の活性化の中核とし、次世代へ継承・発展させる取り組みを本事業で実施する。</p>			
6 実施体制			
<p>廿日市市が本実施計画に関わる全体の企画・調整や、各補助事業に関わる指導を行う。主な担当課、役割は下記のとおり。</p> <p>教育委員会教育部生涯学習課文化財グループ：各補助事業における文化財の取扱いに関する指導・調整、普及啓発など 環境産業部観光課：情報発信、普及啓発、観光業務に関する連携など</p> <p>補助事業は次の団体が実施する。 世界遺産「厳島神社」を活用した地域活性化プロジェクト実行委員会 ・構成団体（廿日市市、宮島観光協会、厳島神社）</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 3,830 千円	平成29年度申請額： 5,820 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②の通り	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>シンポジウムについて：市民や子供たち、文化・教育関係者、観光関係者が、厳島神社の普遍的で優れた価値を再認識することにより、①子供たちや地域の歴史への理解と誇りを高めて、地域の活性化を進めていくことに大きな効果があり、②厳島神社から発して、神社ばかりでなく日本の歴史や文化に対する関心と共感を深めていくことが期待できる。</p> <p>アプリについて：海外からの来訪者は年々増加をたどっているが、多くは美しい景観に目を奪われ、厳島神社がもつ海上の信仰や歴史、日本文化との関連についての関心は薄いと云わざるを得ない。宮島を歴史・文化・自然など全方位から攻究する「宮島学」秋山伸隆氏の指導監修によるアプリを用いて、世界に宮島の魅力を多角的に発信し、深い理解を外国人に与えることにより、リピーターと一層の海外からの新規来訪者を増加させる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：			
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	廿日市市環境産業部観光課		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	その他 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	宮島を訪れる外国人観光客数	関連事業:		①②		
目標値 1 :	平成 28 年度	179,000 人	⇒	平成 33 年度	234,000 人	
設定根拠 1 :	平成26年度に策定した観光振興基本計画において設定。設定にあたっては、震災前のH22の数値(13万人)をもとに、広島県が策定した「観光立県推進基本計画」を参考に伸び率前年比5.5%増とした。					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	
目標区分 2 :	(リストから選択してください。)					
評価指標区分 2 :	(リストから選択してください。)(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	(具体的な指標を記載してください。)		関連事業:			
目標値 2 :	平成 年度	(単位)	⇒	平成 年度	(単位)	
設定根拠 2 :						
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	
目標区分 3 :	(リストから選択してください。)					
評価指標区分 3 :	(リストから選択してください。)(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 3 :	(具体的な指標を記載してください。)		関連事業:			
目標値 3 :	平成 年度	(単位)	⇒	平成 年度	(単位)	
設定根拠 3 :						
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	
目標区分 4 :	(リストから選択してください。)					
評価指標区分 4 :	(リストから選択してください。)(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 4 :	(具体的な指標を記載してください。)		関連事業:			
目標値 4 :	平成 年度	(単位)	⇒	平成 年度	(単位)	
設定根拠 4 :						
進捗状況 4 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	(単位)	

